

# 瑞浪市生活交通ネットワーク計画（案） 概要版

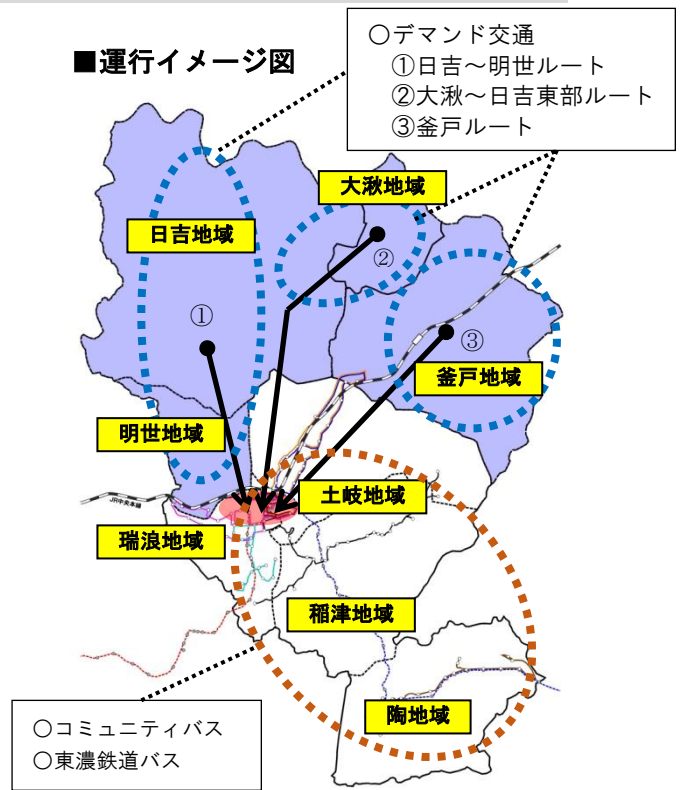
## 1 公共交通体系の構築

### (1) 北部地域

- 平成 28 年度は日吉・大湫地域においてコミュニティバスからデマンド交通へ移行する。  
併せて、コミバス大湫は廃止する。
- 平成 29 年度は釜戸地域においてコミュニティバスからデマンド交通へ移行する。
- 通学対応については、平成 30 年度まではコミュニティバスにより対応する。平成 31 年度以降は、統合後の瑞浪北中学校はスクールバス、小学校はコミュニティバスまたはスクールバスとする。

### (2) 中心部・南部地域

- 東濃鉄道バスとコミュニティバスの運行とする。
- 平成 28 年度の瑞浪南中学校への統合後は中学校のスクールバスを運行する。



### ■公共交通体系の構築スケジュール

		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度～
北部地域 ・日吉地域 ・明世地域 ・大湫地域 ・釜戸地域	一般利用	○コミュニティバス ・日吉線 ・釜戸＝大湫線 ・釜戸＝平山線 ○コミバス大湫 ※デマンド交通導入に関して関係機関と調整、地元説明等	○コミュニティバス ・釜戸＝大湫線  ○デマンド交通 ・日吉～明世ルート ・大湫～日吉東部ルート	○デマンド交通 ・日吉～明世ルート ・大湫～日吉東部ルート ・釜戸ルート		
	通学対応	○コミュニティバス (日吉小学校、日吉中学校、釜戸小学校、釜戸中学校)  ※デマンド交通の運行状況により学校までの運行経路に短縮				○スクールバス (瑞浪北中学校) ○コミュニティバス またはスクールバス (日吉・釜戸小学校)
中心部・南部地域 ・瑞浪地域 ・土岐地域 ・稲津地域 ・陶地域	一般利用	○東濃鉄道バス (瑞浪＝駄知＝多治見線、明智線) ○コミュニティバス (瑞浪中央線、山田線、名滝＝市原線、名滝＝一日市場線、萩原線、陶線) ※変更箇所の検討、地元説明・調整、運行手続き				
	通学対応	※スクールバス運行にむけた準備	○スクールバス (瑞浪南中学校)			

※北部地域と中心部・南部地域の範囲は、町の範囲を基本とし、利用需要や地形なども考慮して調整する。

## 2 公共交通の具体的な仕組み

### (1) デマンド交通

デマンド交通は現行のコミュニティバスから移行することを目指しているため、通学対応便を除いて、コミュニティバスを廃止しデマンド交通に移行する。

運行内容	基本的な考え方
運行ルート	日吉～明世ルート、大湫～日吉東部ルート、釜戸ルートの3ルートで、予約のあった乗降場所に停車して中心部まで運行する。
運行日	平日のみ（年末年始は運休）
運行ダイヤ	乗合を促進し、運行車両数を抑えるために基本運行ダイヤを設定（8時発便等）
運賃	均一料金とし、300円～800円の範囲で検討する。
乗降場所	現行コミュニティバスのバス停より多数の乗降場所を設置する。
利用対象者	事前に利用登録した者
利用方法	インターネットまたは電話による事前予約制
運行車両	ワンボックス車両またはセダン車
システム	配車システムの導入及び現行タクシー無線等の活用をあわせて検討する。
運行事業者	平成27年度に検討し、決定する。

### (2) コミュニティバス

市の中心部及び南部地域については、現行通りコミュニティバスの運行を継続し、需要等に応じて経路、運行本数、運賃の見直しを行う。

		内容
運行路線	一般利用	・瑞浪中央線、山田線、名滝＝市原線、名滝＝一日市場線、萩原線、陶線 ・釜戸＝大湫線（平成28年度まで）
	通学利用	日吉線、釜戸＝大湫線、釜戸＝平山線
運賃		距離により金額を区分し、200円と300円の運賃を基本として今後検討する。
課題と対応		デマンド交通導入による影響及び地区別に運行本数・経路等が異なるため、コミュニティバス路線別に課題への対応を今後検討する。
名滝＝市原線、 名滝＝一日市場線		日吉線、釜戸＝大湫線の一部路線の廃止に伴い土岐地区を通る便数が減少するため、名滝＝市原線、名滝＝一日市場線の増便を検討する。
日吉線 釜戸＝大湫線 釜戸＝平山線		朝夕（通学対応便）のみ運行のため、運行経路を「現行どおり」とするか「各学校まで」とするか検討する。
萩原線		現行は市中心部まで2往復の運行回数があるが、他地域のサービス水準は3往復程度となるため、サービス水準を平準化する観点から増便を検討する。
瑞浪中央線		デマンド交通の運行範囲によっては、明世地区（戸狩地区、山野内地区）の移動手段が無くなる可能性があるため、運行経路変更による対応を検討する。

### (3) 事業評価

本計画を着実に推進するため、計画実施状況及び目標達成度、公共交通ネットワークの評価を行い、必要に応じて計画の見直しを行う。